

決議案第 1 号

加東市議会の解散に関する決議

上記の決議案を、別紙のとおり加東市議会会議規則第 14 条の規定により提出します。

令和 8 年 3 月 23 日提出

加東市議会議員	小 川 忠 市
同	中 村 龍 治
同	高 瀬 俊 介
同	小 松 志 津 雄
同	大 久 保 忠 義
同	廣 畑 貞 一
同	長 谷 川 幹 雄
同	大 畑 一 千 代
同	橋 本 匡 史
同	小 紫 泰 良
同	藤 尾 潔

加東市議会解散に関する決議

地方公共団体の議会の解散に関する特例法第2条の規定に基づいて、加東市議会を解散する。

以上、決議する。

令和8年3月23日

加 東 市 議 会

(提出の理由)

平成18年3月20日、加東郡社町、滝野町及び東条町が合併し加東市が誕生した。

その際、旧3町の議員を引き続き加東市議会議員として在任する特例を適用したため、加東市長選挙の約6か月後に市議会議員選挙が執行され、現在まで継続している。

また、本議会は、令和6年11月に議員定数条例を改正し、議員定数を2人減の14人としたが、当該条例の適用前に欠員が生じたことから、令和8年4月執行の市長選挙の際には市議会議員の補欠選挙を行う必要がある。

議会の自主解散により加東市長選挙と市議会議員選挙を同日に実施することで、投開票事務の簡素化等の行財政改革及び市民負担の軽減も見込まれることから、令和7年6月定例会において「加東市議会議員と加東市長選挙の同時執行に関する決議」を可決した。

以上のことから、加東市議会の解散に関する決議を提出するものである。



令和8年3月5日

加東市議会議長 岸本 眞知子 様

提出者 加東市議会議員 小川 忠市

賛成者	同	中村 龍吟
	同	高瀬 俊介
	同	小松 志津雄
	同	大久保 忠義
	同	栗田 真一
	同	長谷川 幹雄
	同	大畑 一仁
	同	崎本 匡丈
	同	小紫 泰良
	同	藤尾 淳

加東市議会の解散に関する決議

上記の決議案を、別紙のとおり加東市議会会議規則第14条の規定により提出します。

(提出の理由)

平成18年3月20日、加東郡社町、滝野町及び東条町が合併し加東市が誕生した。

その際、旧3町の議員を引き続き加東市議会議員として在任する特例を適用したため、加東市長選挙の約6か月後に市議会議員選挙が執行され、現在まで継続している。

また、本議会は、令和6年11月に議員定数条例を改正し、議員定数を2人減の14人としたが、当該条例の適用前に欠員が生じたことから、令和8年4月執行の市長選挙の際には市議会議員の補欠選挙を行う必要がある。

議会の自主解散により加東市長選挙と市議会議員選挙を同日に実施することで、投開票事務の簡素化等の行財政改革及び市民負担の軽減も見込まれることから、令和7年6月定例会において「加東市議会議員と加東市長選挙の同時執行に関する決議」を可決した。

以上のことから、加東市議会の解散に関する決議を提出するものである。

